

# コース21 たいらっびょうやましゅうかい 平標山周回

リーダー CL M/S SL Y/Y  
 実施日 平成30年6月30日(土)  
 天候 晴れ  
 グレード C~C上  
 参加者 20人(男性10 女性10)

## コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:00	全員時間通り集合、やや蒸しでも青空の下出発。
元橋平標山登山口	7:30	7:53	点呼、T/H氏による盤石なスリッチの後いざ登山開始。
鉄塔	9:03	9:15	第一関門をJ-スリッチ通りで踏破後、十分に水分補給。
松手山山頂	9:47	10:05	目指す平標山山頂を仰ぎ見て鋭気を養う。
平標山山頂	11:50	12:32	山頂はすでに多くの登山者。強風を避けつつ昼食。
平標山ノ家	13:15	13:30	おいしい湧水で喉と心を癒す。山頂バックに記念写真
岩魚沢林道出合	14:40	14:48	無数の階段を下り切り、疲れた膝を養生する。
元橋平標山登山口	15:40	15:55	最終林道50分のハイパスで全員無事下山完了。
越後川口SA	17:00	17:15	道の駅みつまたが豪雨のため寄れずSAで一服。
秋葉区役所前	18:30		計画より30分早く帰着。お疲れ様でした。

## 山行等概要(幹事のコメント)

### ●山行など概要

- 当山行は、昨年度計画しましたが雨で流れてしまい今年度リベンジです。時節柄今年も直前まで天候状況が難解であったが、参加者のご精進のおかげで、顔を出されたお日様の下での催行となりました。
- 取っ付きの急登、急階段、涼風吹き渡る快適な尾根歩き、数々の花の楽園を苦しみ・楽しみながら高度を上げ、全員での山頂制覇となりました。万歳と握手で称え合いました。(花の楽園のスターたち抜粋：ハクソドリ、アヤギリ、ジョゼツバナ、オヒラ、ヨバツガマ、ハクソウカ)
- 山頂からは360度で数々の山塊の遠望が楽しめ、目前にはどっしり君の仙ノ倉山、稜線の奥には 谷川岳のトマ・オキの両耳もくっきりと。東日本の真っ只中の頂に立てたことの喜びで一杯でした。
- 皆さん満面の笑顔での記念撮影の後は、ひたすらひたすらの下山開始。



山頂にて、全員制覇万歳

- 膝君が笑い出さないようにと庇いつつ木段を急降下。山ノ家の湧水で命を吹き返したあとはまたまた延々と続く階段道で、膝・腿には大重圧がかかりました。
- それでも皆さん全員元気に林道出合まで下山を完了しました。とどめはこれまた長い林道歩き。ゴール間際に遠くから黒雲と共に雷鳴が響きはじめました。一同スタコラサッサと速足で下山完了です。靴履き替えの後、帰りのバスが発車した直後に豪雨の来襲となりました。神様！最後までありがとうございました。



目指す山頂は稜線の最奥ピーク



まずは眼下に臨める山ノ家に向かって下山開始

### ●幹事のコメント

- 山行日の半月も前から続きっぱなしの不安と緊張を募らせての本番チャレンジとなりました。ベテラン揃いのメンバーからの無言の励ましを背に、引き返しが厳しい「周回」へ突入しました。
- 登・下山中はごく一部の方が体調不良や歩行障害等を起こされましたが、SLをはじめ先輩メンバー諸氏からの適切な手当・保護・配慮のお蔭をもちまして全員で山頂に立つ事が出来、全員無事に登山口への下山、周回を果たすことができました。ありがとうございました。皆様からの援助なしでは到底達成出来なかつただろうと考えると後で身震いもいたします。
- 何よりも素晴らしいメンバーに恵まれましたことにまず心底から感謝申し上げます。援助くださった先輩諸氏・SL・各班長・会計・撮影の方々、そしてメンバー全員の皆様、本当にありがとうございました。



平標山ノ家前にて。下りてきた山頂をバックに